

日本広報学会第 22 回研究発表全国大会

北海道大学大会開催要項

The 22nd Conference of Japan Society for Corporate Communication Studies
in Hokkaido University

統一論題「新時代の国際広報」



主催

日本広報学会

北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院

協力

経済広報センター

日本パブリックリレーションズ協会

公共コミュニケーション学会

地域活性学会

2016 年

1. 統一論題 「新時代の国際広報」

TPP の行方如何によらず、現在、日本経済は確実に次のグローバル・ステージに入りつつあります。あらゆる国内市場に聖域はなく、われわれは常に競争環境にさらされています。国際広報はもはやグローバル企業のための課題ではなく、国や公的組織、中小企業や地方公共団体でも重要性を増大させています。近年の円安影響もあり、外国人観光客は急増し、地域経済にも大きな効果をもたらしています。加えて 2020 年のオリンピックを控え、日本の文化や技術を世界に伝える好機も近づいています。その一方で、日本企業の国際競争力ランキングの低迷、対日投資の低調は長期化しつつあり、新グローバルの時代における日本の国際化を牽引する国際広報への期待と課題は大きいといえます。本大会においては、このようなグローバル時代における、新たな国際広報の展望を考えたいと思います。

2. 会 期

2016年10月29日(土) 11:30~20:40 (懇親会を含む)

10月30日(日) 9:00~15:30

3. 会 場

北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院

(〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目) <http://www.imc.hokudai.ac.jp/>

(連絡先) 北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 伊藤直哉

011-706-5400 naoya@imc.hokudai.ac.jp

ただし、プレ・カンファレンス・シンポジウム会場は別会場になります。

4. 大会の参加申込要領

大会参加申込は別紙「第22回研究発表全国大会<参加>申込書」に必要事項を記入の上、10月27日(木)までにFAX・メールにて学会事務局にご提出ください。只、入金は25日(火曜日)までを前納の締切といたします。それ以降は、当日金額でお支払をお願いいたします。

会員・非会員参加費 個人前納5,000円(当日6,000円) 学生前納2,500円(当日3,000円)
会員・非会員懇親会費 個人前納5,000円(当日6,000円) 学生前納2,500円(当日3,000円)
予稿集 1,000円(1部は参加費に含まれています)
弁当代 1,000円(必ず事前にお申し込み下さい)
振込先 銀行振込:みずほ銀行丸之内支店 /普通口座 2453666 /口座名義 日本広報学会
郵便振替:口座番号 00150-6-540368 /加入者名 日本広報学会

5. その他

- ・10月30日(日)は学内食堂も閉まります。お弁当をご利用ください。
- ・宿泊先は各自でご手配ください。
- ・プレ・カンファレンス・シンポジウムは別受付になります。(参加無料)
- ・ポスト・カンファレンス・シンポジウムはどなたでも参加できます。(参加無料)

日本広報学会第22回研究発表全国大会プログラム一覧

10月28日(金)【前日】<プレ・カンファレンス・シンポジウム>

13:30~16:30 **「地方創生と国際化」** 会場：札幌グランド・ホテル（札幌市中央区北1条西4丁目）
本シンポジウムのみ別受付（無料）以下のHPから受付登録をお願いします。
北大大学院国際広報メディア・観光学院 URL：http://www.imc.hokudai.ac.jp/

10月29日(土)【第22回研究発表全国大会1日目】

11:30~12:30 受付（北大情報教育館1F）
12:30~12:50 開会式・日本広報学会賞発表・表彰（北大情報教育館3F）
13:00~15:50 **統一論題ディスカッション・セッション「日本の広報：その普遍性と特殊性」**（同場所）
広報のグローバル比較調査を主宰するゼルファス教授を交え、国際的な視角から日本の広報の特質を検討します。
Prof. Dr. Ansgar Zerfass, University of Leipzig（通訳入）統一論題口頭発表及びディスカッション
15:50~18:30 ポスター展示（北大情報教育館1F）
16:00~18:30 口頭発表（北大大学院国際広報メディア・観光学院棟105, 307, 608）
18:40~20:40 懇親会（北大北部食堂特設会場）

10月30日(日)【第22回研究発表全国大会2日目】

9:00~12:00 口頭発表（北大大学院国際広報メディア・観光学院棟105, 307, 608）
9:00~12:00 ポスター展示（北大情報教育館1F）
12:00~13:00 昼食・ポスター立会説明（北大情報教育館1F）
13:00~15:00 **記念シンポジウム「地方からのデスティネーションPR」**（北大情報教育館3F）
地方創生時代に期待される新観光潮流を踏まえ、デスティネーション戦略を基幹に据えた地方からの情報発信を考える。
15:00~15:30 閉会式・北海道大会贈賞式・時期開催校挨拶（北大情報教育館3F）

10月30日(日) <ポスト・カンファレンス・シンポジウム>

16:00~18:00 **「北海道CSRの現状と課題」**（北大情報教育館3F）
全国的に見ても稀な取組である「北海道CSR研究会」参加企業に登壇頂き、自社CSR活動に加え、北海道の特徴的なCSR活動を紹介し、地域密着型経営戦略と地域型CSR活動の本質を考察する。

日本広報学会第22回研究発表全国大会ポスター発表一覧

区分	タイトル	著者
自由論題	パブリシティの記事内容とその効果に関する実証的研究 —ネット記事を題材として—	天野 美穂子（東京大学大学院）他
学生	LINE、微信（Wechat）上広報・広告メッセージに対する消費者の情報処理 プロセス研究—精緻化見込みモデル（ELM）のアプローチから—	宋 兆瑾（北海道大学大学院）
	ジャーナリズム企業における危機管理の特異性に関する研究 —ジャーナリズム倫理との関連性—	川本 康博（北海道大学大学院）
	知識共有の動機と社会関係資本がクチコミ発信に及ぼす影響 —中国のソーシャル・メディア利用者を対象に—	劉 暢（北海道大学大学院）
	ソーシャルメディアからの消費に関わる情報構造の比較 —日中におけるオーディエンスの視点から考察する—	肖 申夏（北海道大学大学院）
	新旧メディアにおけるメディア・イベントの内容分析 —アジェンダ・セッティングによるリオ・オリンピック期間におけるブラジルの ナショナル・イメージの形成に関する研究—	曹 禕迪（北海道大学大学院）
	SNSでの外食・グルメ情報ロコミの受容過程における影響因子について —若者を中心に—	禹 守貞（北海道大学大学院）
	中国人日本語学習者の対日イメージの変化の背景の分析 TAM+ELMでeWOMによる製品信頼のモデル化 —モバイル端末を例に—	田 芙蓉（北海道大学大学院） 徐 東赫（北海道大学大学院）
	地域創生の現場におけるコーポレート・コミュニケーション戦略研究	小野 豊和（東海大学）
研究会 研究部会	先進的病院の経営トップのレピュテーション広報戦略とその意思決定プロ セスに関する実証研究（中間報告）	菅原 正博（プロトビジョン）他
中部圏企業における広報課題研究会 2016活動概要	中村 昭典（名古屋大学）	
海外の大学PR（最終報告）	三宅 貴也（電気通信大学）	
大学広報の現状と課題（中間報告） —入試広報から大学ブランディングまで—	三宅 貴也（電気通信大学）	
関西部会におけるコーポレート・コミュニケーション（CC）の課題解決のた めのディスカッションとプレゼンテーション交流部会（中間報告）	石橋 陽（国際CCO交流研究所）	
国際スポーツイベントと国家ブランディング研究会（略称：オリパラ研究会）	濱田 逸郎（江戸川大学）	
デジタルPR研究部会 活動報告 —デジタル領域におけるメディアの変化とその影響について—	平田 大治（シックス・アパート）	
公共コミュニケーションを担う人材育成	河井 孝仁（東海大学）	
「日本的経営とスポーツ広報」研究会報告	黒澤 寛己（びわこ成蹊スポーツ大学）	
「スポーツ団体の広報」研究会報告	黒澤 寛己（びわこ成蹊スポーツ大学）	
BtoB企業の社会貢献活動の特質に基づくソーシャル・コミュニケーション の研究	山崎 方義（京都産業大学大学院）他	

日本広報学会第22回研究発表全国大会口頭発表一覧

時間	院棟105	院棟307	院棟608
10月29日	広告・マーケティング他(渡辺)	企業広報[評価](山田)	公共広報・理論(辻本)
16:00-16:30	江間直美 CSR(環境・社会)広報用語としてのオノマトベの可能性: 大学生の環境連想語・連想マップ調査の結果から	長濱憲 上場企業調査にみる広報力の現状と推移に関する考察	河井孝仁 地方創生に向けたシティプロモーション成果指標の提案: シティプロモーション事例分析研究会の経過から
16:30-17:00	刘顔彦 『日経エコロジー』における環境広告に関する研究—非言語編: 定量的内容分析と定性的記号論による試み	嶋谷光洋 食品卸会社が挑む生活者視点のコミュニケーション: 女性データアナリストの事例から	内田純一 プレイス・ブランディング論から見た“地方創生”の課題: 地域戦略におけるパブリック・ディプロマシー的視点
17:00-17:30	佐藤達郎 カンヌライオンズ2016で、世界は何に注目し、何が語られたか?: マーケティングPRの視点から	杉浦正吾 CSRコミュニケーション効果の定量化: 三井物産「サス学」アカデミーを事例に	小林壘 組織間ネットワークによる地方自治体広報の考察: NHKスポーツ放送との関係性について
17:30-18:00	藤崎実 企業広報におけるファンとの共創の可能性: メディアリレーションズから情報リレーションズへ	黒田明彦 広報活動の最適化と企業価値評価に関する一考察	須田比奈子 組織とパブリックとの関係性構築における広報の役割に関する考察
18:00-18:30	キャンセル	石川慶子 リスクマネジメント国際規格ISO31000フレーム活用による外見リスクマネジメント推進の可能性: 外見リスクマネジメント研究会中間報告	野口将輝 現代的行政広報とは何か: 行政と住民の関係性からの考察
10月30日	企業広報(須田)	非営利組織広報他(内田)	コミュニケーション効果(宮部)
9:00-9:30	佐桑 徹 グローバル化時代の広報戦略とグループ広報: グループ経営を支えるグループ広報戦略	米村真悟 東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ団体の広報戦略に関する一考察: マネジメントプロセスを視点に	Jia Song How do interfirm knowledge transfer and communication affect the perform
9:30-10:00	駒橋恵子 Owned Mediaとしての企業博物館のメッセージ機能について: ミュージアム空間で企業理念を共有する	榎原康貴 大学生不祥事における大学評価への影響: 大学広報への影響への考察	Junjiao Zhang Source or Message? Persuasive Communication of Travel Information in China: An Integrated Model Predicted by Technical Adequacy
10:00-10:30	北見幸一 企業魅力度モデルと広報活動: 企業の魅力高める広報活動に向けて	小山祐介 ホームページへのアクセス解析から病院広報へのニーズに関して行なった一考察	Masako Amino Implications of Changes in the Customer Loyalty Structure in Commercial Airlines.
10:30-11:00	事例研究 (研究委員会)	島津英昌 病院広報からコミュニティ広報へ: オール備後で制作したレシピ本・だしパックの広報的效果	Satomi Furuno What Kinds of Values Anticipate the Acceptability of Technologies? The Case of Technological Risks
11:00-11:30		谷ノ内 識 大学における理念の浸透とコミュニケーションに関する分析: 全国大学アンケート調査から	Makiko Kawakita PR Strategy of Classical Music Hall in Japan Utilizing Customer In-Role Behavior for Commitment: Munetsugu Hall Case Study
11:30-12:00			論文作成法 (学会誌委員会)